

あなたの技能や経験、能力や知 あなたを待ってる人が、あなた

シルバー人材センターは働きたい高齢者、働け
働くことを通じて健康であることを確かめられ、
その働きに対して配分金とい
収入を得ながら地
大きな生きがいをあなた

■事務分野

- ・宛名書き（毛筆・硬筆）
 - ・賞状等筆耕
 - ・集計事務
 - ・一般事務
- 様 様 など

■技術分野

- ・経理事務
 - ・パソコン
 - ・救護
- など

■技能分野

- ・植木の手入れ
 - ・障子・襖の張替え
 - ・網戸張替え
 - ・家屋等の修理
 - ・パソコンの接続
- など

社団法人 砺波市シルバー人材センター

本所 砺波市高道二一七の二
庄川支所 砺波市庄川町青島四〇一

お申し込み・お問い合わせ

☎ 33-4341
☎ 82-5335

シルバー人材センターとは

「自主・自立、共働・共助」の理念に基づき、会員の総意と主体的な
参画により運営する組織です。国、県、市町村からの支援を受けて
運営されている公益法人(社団法人)です。

『会員互助会研修旅行』

へ行ってきました

九月三十日から十月一日の二
日間、会員互助会の研修旅行が
ありました。

今年には日光方面へ出掛け、名
湯の鬼怒川温泉にゆつくりつ
かり日頃の疲れを癒しました。
翌日は、世界遺産日光東照宮へ
参拝し、將軍着座の間にて特別
祈禱をしていただきました。

両日とも爽やかな秋空とはい
きませんでした。中禅寺湖を
訪れると天候も回復し、紅葉鮮
やかな山々も堪能でき、旅の良
い思い出となりました。



世界遺産の日光東照宮

新春にあたり

心を耕す



砺波市文化協会
会長 飯田 敏雄

新春明けましておめでとございます。
砺波市民の皆様ならびに当協会会員の皆様におかれましては、つつがなく良いお年を迎えられましたことと心よりお慶び申し上げます。

さて、砺波市文化祭も本年はいよいよ第37回目を迎えることとなりました。多くの諸先輩のご苦労が継承され、今日に至りましたことはまことに嬉しく、今後一層の努力をしなければいけないと意を新たにすることでございます。
伝統と歴史、そして新しく創造される文化、これらは私たちの人生を豊かにする力ではないかと思えます。

それは、永きにわたって培ってきた文化が私たちの心の持ちように深くかかわってくるからです。喜びも悲しみも、人を愛し励まし合う心も、自然に対する畏敬の念も、これら全てが精神的な創造の根源となるものと思われれます。
心を耕し、しっかりとした己の内なるものを深めること即ち受容する心を育むことによつて、私たちは大きな文化の力を享受できるのではないのでしょうか。
今年も互いに切磋琢磨し、人生を豊かにする文化活動を展開していきましょう。

◆第36回 砺波市文化祭◆

前句大会

平成20年11月9日、砺波市文化祭の前句大会が開催されました。(応募者16名) 選者選の句は次の通りです。

川原千尋先生選

巻頭 夜更けまで 歌と囃子に 酔い痴れて

月も楽しや むぎやの響き (東石丸) 川原 利孝

巻頭 天地(夢)

揺り起し にやつく詠を 聞き咎め(石丸) 中神 祐正

夜更けまで 歌と囃子に 酔い痴れて

八尾坂道 輪踊り揺れる (東石丸) 川原 在子

思い出胸に 思い出胸に

金婚の 記念撮影 感無量 (千保) 窪田富美子

ピカピカピカと ピカピカピカと

散居村 田面を照らす 稲光 (東石丸) 池田 悦女

花一輪に 愛情込めて

母の日に 日頃のご恩 謝し贈る(秋元) 今井 好

花開く 砺波散居に 花開く

皆で受け継ぐ 故郷文化 (東石丸) 川田 湧栄

川田湧栄先生選

巻頭 夜更けまで 歌と囃子に 酔い痴れて

終りを惜しむ 蛍の光 (東石丸) 川原 千尋

巻頭 笠(草摘み)

草摘みて 香り豊かな 餅出来た(秋元) 今井 好

ピカピカピカと ピカピカピカと

散居村 田面を照らす 稲光 (東石丸) 池田 悦女

花一輪に 愛情込めて

カルメンの 激しき踊り 裳裾振る(東石丸) 林田 英伸

笠(焼物)

焼物の 色艶巧い 味が出た (野村島) 河森 敏子

笠(初釜)

初釜に 寒梅一輪 凜とした (東石丸) 川原 在子

思い出胸に 思い出胸に

初恋の 彼に逢えるか クラス会(石丸) 中神 萌子

おひな様を描こう

墨彩画公開講座のお知らせ

砺波市文化協会では、広く市民の皆さんに芸術文化に親しんでいただくため、所属団体の協力を得て、毎年公開講座を開催しています。今回は可愛らしい「おひな様」をテーマに墨彩画の教室(全4回)を企画しました。墨絵は初めてという方、絵筆など久しく手にしていないという方もお気軽にご参加ください。

日程

- ① 1月31日(土)
- ② 2月7日(土)
- ③ 2月14日(土)
- ④ 2月21日(土)

いずれも13時30分より15時まで



(平成19年度陶芸教室)

場所 砺波市文化会館 2F 生活研修室
講師 砺波市美術協会 名取川雅司先生
費用 一人千円(材料費)

※表装・額装を希望される場合は別途実費が必要になります。

申込み 砺波市文化会館(森清・佐伯) 締切り 平成21年1月21日(水)



画 名取川雅司

この人この道



俳句は人生の宝
川原河人

砺波市文化協会常任理事
前・砺波市俳句協会会長

川原先生の半世紀以上にわたる俳句人生は、青年団の文化活動の一つである俳句会から始まりました。

「俳句をつくって間もない私の句が太田・柳瀬・南般若の三村合同の俳句大会で、選者の宮部甘雨先生により一席に選ばれました。水門を上げたままに

川枯るる

この感激は今も忘れられません。俳句とはなれない人生となったようです。」と昔をふりかえられます。

昭和二十七年、二十三歳のときに「ホトトギス」「若葉」「辛夷」「春嶺」に入会され、前田普羅先生・中島杏子先生・佐藤曾太さん・雲海さんなどよき指導者・仲間にも恵まれ、俳句の真髓をきわめられました。

平成二年、砺波市教育委員会から、多年にわたり俳句を通じ、地域文化の発展につくした功績により表彰されました。

平成八年には、五年に一

回開かれる俳句協会北陸地区大会が金沢で開催され、特選に選ばれました。（選者成田千空）

足袋おりて足袋に差している
花疲れ



般若山薬勝寺にて吟行会

平成九年、川原河人句集「稲」を発行。

平成十三年、富山で開催の俳人協会創立四十周年記念・北陸俳句大会では、大賞を受賞されました。

立山の風に魅

こぼしけり

またこの句は、俳句の雑誌「朝」（東京）の選者、岡本降氏により特選。月刊俳誌「対岸」主宰の今瀬剛一氏

により特選。辛夷社より作品が特にすぐれているということで衆山皆響賞も受賞されています。（平成九年）

このようにすばらしい俳句人生を歩まれた川原先生の手元には、いつも歳時記がありました。何げない風景を見ても感動し、すぐ季語に結びつけられます。

二十四時間、いつも俳句のことで頭はいつぱいだそ

うです。奥様も吟行に一緒に行かれますが、奥様からみたご主人は「俳句が好きで恋人のようです。」と、にこやかにおっしゃっています。

旅に出ると目にするものが違い、大勢の仲間と話し合えば、一人で作るよりいろんな句ができるということ

です。青年団時代に俳句に入ったことが本当に幸福であったと、先生は柔和な表情でしみじみ語られました。

玄関のガラス戸の家紋、襖の水墨画、奥様のほほえみに、「すばらしい俳句は美しい環境から生まれるのだなあ」と心から思いました。

この人この道河人氏と出会いありほのぼのとすむひと日うれしむ

（文責 柴田・的池）

第36回砺波市文化祭

平成20年11月2日、砺波市文化会館視聴覚室で行われた囲碁大会には、24名の参加があり、熱戦が繰り広げられました。成績は次の通りです。

囲碁大会成績



優勝

高波チーム

（市山有正五段、白江幸治初段、宮井豊彦初段）

次勝

庄川町チーム

（安谷富男五段、但田清重四段、田上弘三段）

参勝

若林チーム

（中島弘長五段、田谷利春二段、中島隆二級）

全勝賞

市山有正五段（高波チーム）

但田清重四段（庄川町チーム）

「国民文化祭・いばらき2008」に出演

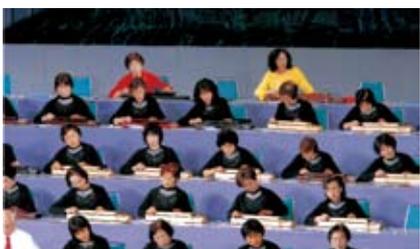
琴伝流大正琴 Music Box

昨年11月に茨城県で開催された第23回国民文化祭の『大正琴の祭典』に砺波市文化協会所属の Music Box の皆さんが出演しました。

会場のひたな市文化会館には、北海道から沖縄まで全国各地から各流派の推薦を受けたグループが一堂に会し、日頃の練習の成果を披露しました。

大正元年（1912）生まれの大正琴は間もなく百周年を迎えます。今回の演奏会も、その百周年に向けて各流派の交流を深め、大正琴という楽器のより

一層の普及を目指して特に実現されたものです。各流派の高いレベルの演奏に、満員の聴衆はもとより、出演者もまた大正琴の魅力を再認識させられた有意義な一日でした。



平成20年度 富山県文化ホールネットワーク事業 ホール シネマ イン トヤマ 2008

12人の優しい日本人

1991年 日本 カラー 116分 配給/アルゴプロジェクト
監督/中原 俊 脚本/三谷 幸喜・東京サンシャインボーイズ

もし日本にも陪審員制度があったらという仮定のもとづいて、ある殺人事件の審議に奮闘する12人の陪審員の姿をユーモラスに描く。
東京サンシャインボーイズによる同名戯曲の映画化で、脚本は同劇団主宰の三谷幸喜。
出演/塩見三省・相島一之・豊川悦司 ほか

1月25日(日) 午後2時 開演(1時30分開場)
入場券500円 砺波市文化会館 大ホール



©1991 NCP/アドギア

愛と死をみつめて

1964年 日本 モノクロ 117分 配給/日活株式会社
監督/斎藤 武市 原作/大島 みちこ 河野実

大島みちこ、河野実の書簡集を八木保太郎が脚色、斎藤武市が監督した青春もの。高野誠が小島道子に会ったのは、誠が浪人中、阪大病院に入院したときであった。知的で清純な道子に惹かれていく誠。入院生活を続ける道子の不安は誠の手紙によってカづけられていたが…。出演/浜田光夫・吉永小百合・笠智衆 ほか

2月15日(日) 午後2時 開演(1時30分開場)
入場券500円 砺波市文化会館 大ホール



©日活株式会社



常任指揮者
小林研一郎

アーネム・フィルハーモニー管弦楽団

リムスキー=コルザコフ
シエララザード
ムソルグスキー/ラヴェル編
展覧会の絵

2009年3月15日(日) 午後6:00開演
砺波市文化会館大ホール

チケット(全席指定)
S席 12,000円 A席 9,000円 B席 6,000円

好評
発売中



砺波市文化会館ホールメイト募集

特典

- 砺波市文化会館の催物案内が、2ヶ月に一度直接お手元に届きます。
- 砺波市文化会館が主催する催物のチケットを一般発売の2週間前から予約できます。
- 砺波市文化会館が主催する催物のチケットを5%割引します。(1事業につき2枚まで)
- 催物によってはすてきなプレゼントがあります。

- 会費
年会費 1,000円
- 有効期限
入会された日から翌年の3月31日まで
- 申込み・お問合せ
砺波市文化会館まで

大ホールイベント案内

詳しくは主催者にお問合せください。

1月	日(曜日)	催物名	開演～(予定)	主催者(連絡先)	入場料 ☆は関係者のみ
	4日(日)	砺波市消防出初式	10:30～	砺波市消防本部(石田) 0763-32-4957	☆
	10日(土)	アンサンブルコンテスト	9:15開演	吹奏楽連盟砺波支部 砺波工業高校(松山) 0763-33-2047	入場券500円 (小学生以下無料)
	11日(日)	砺波市成人式	9:30～	砺波市教育委員会 生涯学習課 0763-82-1904	☆
	18日(日)	読売ファミリーサークル ポケットモンスター『ギラティナと氷空の花束』	14:00開演(予定)	西部読売会 0766-27-6760 読売新聞 砺波販売店 0763-32-2557	☆
	24日(土)	砺波市教育大会	13:30開演	砺波市教育センター 0763-82-5970	無料
	25日(日)	デジタルシネマ上映会 『12人の優しい日本人』	14:00開演	砺波市文化会館 0763-33-5515	入場券500円
2月					
	7日(土)	うれしい1年生のつどい 砺波	13:30開場 15:00終演	北日本新聞社 076-445-3336	無料
	14日(土)	となみ演劇鑑賞会 『サウンド オブ ミュージック』	18:45開演	となみ演劇鑑賞会 0763-33-0725	☆
	15日(日)	デジタルシネマ上映会 『愛と死をみつめて』	14:00開演	砺波市文化会館 0763-33-5515	入場券500円

※上記内容については変更になる場合がございます。ご了承ください。

ホールアシスタント募集

砺波市文化会館では、当日券の販売やお客様の誘導などコンサートのお手伝いをしていただく方を募集しています。くわしくは砺波市文化会館までお問合せください。